

❖ コーポレート・ガバナンス

経営の効率性・健全性・透明性を向上させるため、コーポレート・ガバナンスの充実強化に努めています。

コーポレート・ガバナンスの基本的な取り組み

当社は、経営執行については、取締役11名(うち社外取締役2名)による定時取締役会(毎月開催)および臨時取締役会(随時開催)において、重要事項の決定と職務執行の監督を行っています。また、取締役会をはじめとする経営上の意思決定を効率的に行うための経営会議(原則として月2回開催)やコンプライアンスの徹底、コーポレート・ガバナンスのさらなる充実を目的とした内部統制委員会、安全保障貿易管理委員会、環境保全委員会など、重要な業務事項の審議を行う全社委員会・会議を設置しています。なお、当社は、「方針決定・経営監督機能」と「業務執行機能」の責任区分を明確にし、また、多様化する経営環境の変化に対し迅速な意思決定を図るために執行役員制度を導入しています。

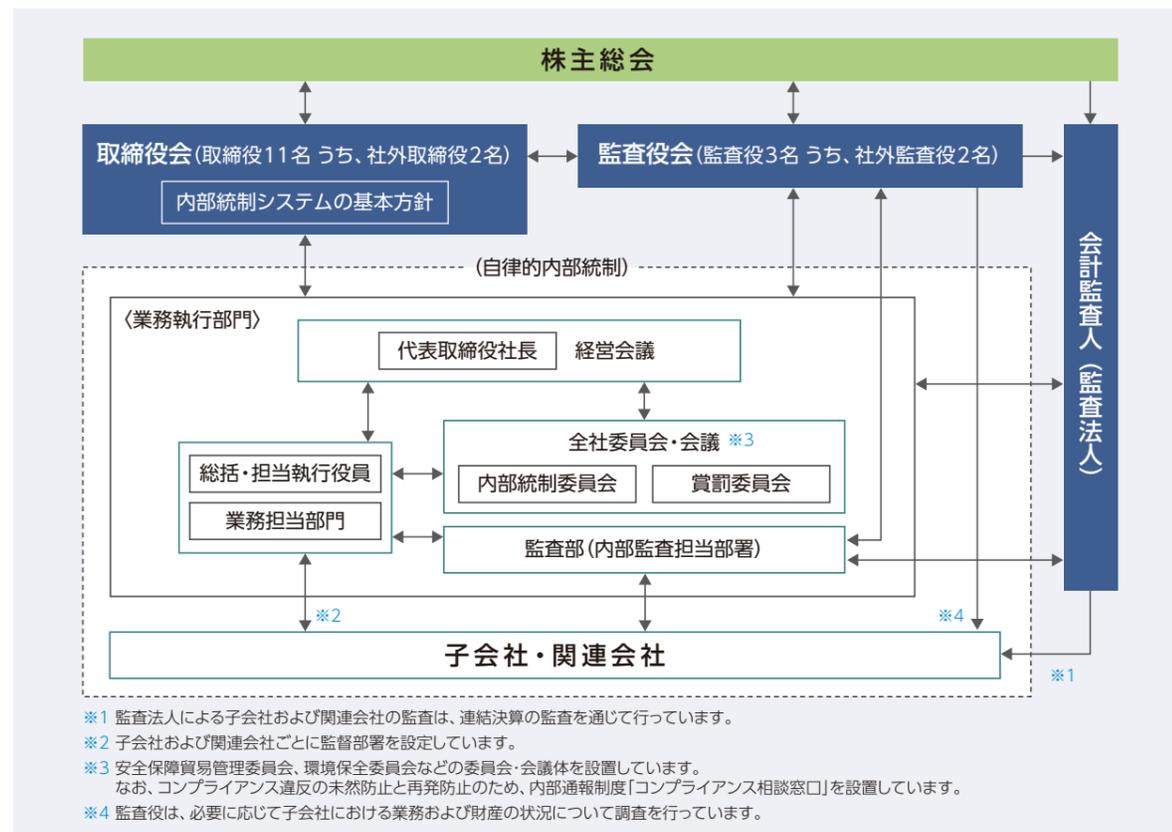
監査役監査については、監査役会において年度ごとに監

査方針を策定し、この方針に基づいて随時実施されています。監査は、監査役3名(うち社外監査役2名)により、取締役の職務執行だけでなく、内部統制面におけるリスク管理やコンプライアンスなどを対象に幅広い視点から行われ、その結果を踏まえて、代表取締役および必要に応じて他の執行部門に対して監査意見が表明されています。なお、当社は監査体制の一層の強化を目的として、常任監査役制度を採用しています。

会計監査については、監査役と会計監査人との協議を経て監査方針が策定され、この方針に基づいて実施されています。また、監査役が会計監査人から会計監査にかかる報告・説明を受ける場を随時設けており、監査役と会計監査人が連携して監査に当たることとしています。

また、内部監査については、監査部が年度ごとに内部監査計画を策定し、この計画に基づいて業務担当部門および子会社における業務執行状況を対象に実施しています。

■ コーポレート・ガバナンスおよび内部統制の仕組み (2017年6月28日現在)



❖ 内部統制システム

誠実・公正・透明な経営管理インフラとして、内部統制システムを構築・運用するとともに継続的改善に努めています。

内部統制システムの基本的な取り組み

当社は、会社法をはじめとする関係法令の定めに基づき、取締役会において内部統制システムの基本方針を決議しています。当社は、この方針のもとで、誠実・公正・透明な企業経営の実現に必要な適正な業務遂行のための管理体制として、自律的な活動を全社的に展開することを原則とした内部統制システムを構築・運用するとともに、その継続的改善に努めています。また、内部統制の実効性をより高めるため、内部統制に関する各事案を審議する場として内部統制委員会を設置しています。

コンプライアンスとリスクマネジメント

山陽特殊製鋼グループでは、内部統制システムを推進するため、コンプライアンス活動およびリスクマネジメント活動に取り組んでいます。

コンプライアンス方針・体制

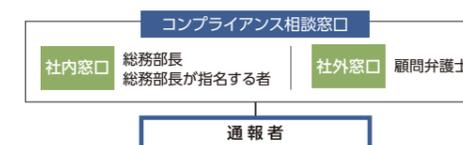
企業活動の根幹を成すルールとして、企業としてとるべき行動規範を定めた「企業行動指針」を策定するとともに、「企業行動指針」に基づき事業活動のなかで順守すべき「行動の手引き」として「行動基準」を定めています。

また、企業倫理担当役員の選任、コンプライアンス相談窓口の設置、内部統制委員会の定期開催などを社則で定め、コンプライアンス推進体制を整備しています。

内部通報制度(コンプライアンス相談窓口)の設置

コンプライアンス違反の未然防止と再発防止のために、内部通報制度「コンプライアンス相談窓口」を設置しています。この制度は、法令、社会規範、社則などに照らし、コンプライアンス違反と思われる状態・行為が認められる場合、またそのおそれがある場合に、その情報をいち早く把握し、迅速かつ適切な対策を講じることにより不祥事の発生を未然に防ごうとするもので、当社および当社グループの従業員、臨時従業員および勤務する派遣社員が利用できます。

■ 内部通報制度(コンプライアンス相談窓口)



コンプライアンス意識向上のための取り組み

山陽特殊製鋼グループはコンプライアンス意識を向上させるため、さまざまな取り組みを行っています。

社員意識調査アンケートの実施

従業員の考えや職場の実情を把握し、内部統制やコンプライアンスに関する会社施策に反映させることを目的として、原則年1回アンケートを実施しています。その結果をもとに内部統制委員会で現状を評価、対策を立案し、各職場で改善活動を実施しています。また、アンケート結果は、社内イントラネットで公開するとともに、職制を通じて従業員にフィードバックしています。

企業倫理月間の設定

当社では10月を「企業倫理月間」とし、コンプライアンス意識のさらなる浸透と向上を図っています。

2012年度からは企業倫理月間標語のポスター掲示を行っています。標語は当社グループの従業員から募集し、社内投票によって選定しています。2016年度は多数の応募のなかから「間違いないか その行動 自分の常識 振り返ろう」が優秀作として選ばれました。その他の取り組みとして、コンプライアンス講演会も継続して開催したほか、コンプライアンスと内部統制について社内報に特集記事を掲載しました。



会社概要



本社・工場全景

山陽特殊製鋼グループは高純度鋼製造技術をベースに、開発、品質、安定供給などの面で市場からの高い信頼を獲得する「高信頼性鋼」を提供しています。

商号	山陽特殊製鋼株式会社 Sanyo Special Steel Co., Ltd.	事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
創業	1933年(昭和8年)11月10日	事業所	〈本社・工場〉 兵庫県姫路市飾磨区中島3007番地 〈その他〉 東京支社／大阪支店／名古屋支店／ 広島支店／九州営業所
設立	1935年(昭和10年)1月11日	従業員数	連結 2,598名 (2017年3月31日現在)
代表者	代表取締役社長 樋口 眞哉	資本金	20,182百万円 (2017年3月31日現在)
主要な事業内容	特殊鋼鋼材、金属粉末、素形材の製造・販売など		

コンプライアンス講演会の開催

2016年10月に、一般社団法人日本アンガーマネジメント協会より正木忠氏をお招きし、アンガーマネジメントをテーマに講演会を開催しました。

「そもそも怒りとは何か」から始まり、怒る必要のあることには上手に怒れ、怒る必要のないことは怒らないようになるアンガーマネジメントについて、具体的事例を交えながら解説していただきました。講演会の模様は、支社・支店へも同時中継が行われ、多くの聴講者がアンガーマネジメントについて理解を深めました。また、講演の様子を録画したDVDを各職場に配付し、全従業員への周知徹底を図っています。



コンプライアンス教育の実施

eラーニングによるコンプライアンス教育や新入社員向けコンプライアンス研修、その他階層別のハラスメント教育などテーマ別の研修を行っています。また、各部署および関係会社では、各部署に即したコンプライアンス教育や業務遂行に必要な法令・ルール周知を実施しています。

2016年度は、社員意識調査アンケートの結果を踏まえ、内部統制やコンプライアンスなどに対する理解をより深めるために、企業倫理に関する用語の解説や当社の内部統制システムについての説明を実施しました。また、自分自身の行動がコンプライアンス違反になっていないかをチェック形式で学べる小冊子を各部署へ配布し、啓蒙活動を行いました。



第一法規(株) ご提供

リスクマネジメント

当社は、当社の事業活動におけるリスクをその特性および必要な管理・統制の水準に応じて、①重要リスク、②業務遂行上のリスク、③外的要因により顕在化するリスクに分類し、内部統制システムの運用を通じたリスクマネジメント活動を推進しています。なお、重要リスクおよび外的要因により顕在化するリスクの項目については定期的に見直し、必要に応じてリスク項目の追加・削除を行っています。

テーマ別の取り組み

● 安全保障貿易管理

安全保障貿易管理規程を策定し、これに基づき輸出業務を行っています。安全保障貿易管理委員会の開催や社内監査の実施を通じ、安全保障貿易を管理する仕組みを構築しています。また、役員を含めた管理職を対象に安全保障貿易管理に関する研修も定期的に行っています。



● 個人情報保護

個人情報を厳格に管理することが社会的に要求されるなかで、個人情報管理規程を制定し、個人情報の取り扱いについてルール化するとともに、管理体制を整備しています。2016年1月から始まったマイナンバー制度にあわせ、「特定個人情報取扱基本方針」ならびに「特定個人情報取扱規程」を定め、特定個人情報を適切に管理する体制を構築し、運用しています。

● 情報セキュリティ

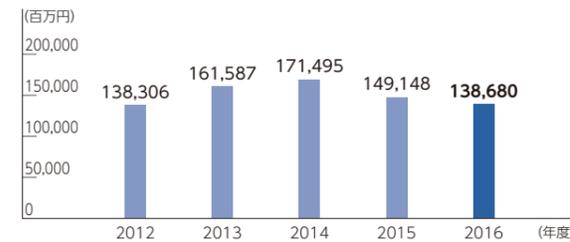
電子メールやインターネットの利用、情報の持ち出しなどに関して、情報セキュリティ規程、ガイドラインなどのルールを定め、保護すべき情報資産のセキュリティ管理を徹底しています。

また、毎月社内向けにセキュリティレポートを発行しています。情報セキュリティの状況を全従業員に周知することで、情報セキュリティに関する従業員の意識の向上を図っています。

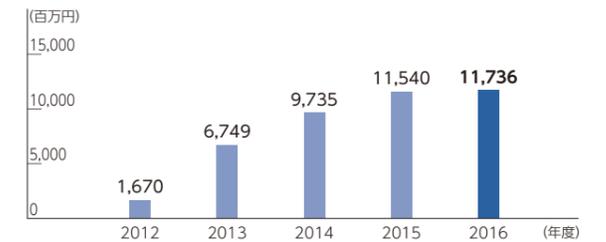
■ 主な関係会社(子会社・関連会社) (2017年3月31日現在)



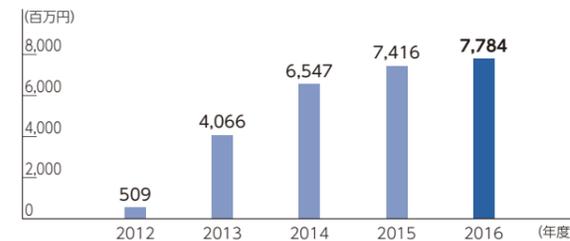
■ 売上高(連結)



■ 経常利益(連結)



■ 当期純利益(連結)



■ 売上高構成比率(連結)

